

手作り甲冑隊 横浜港大さん橋に再見参！！

2019年11月13日

伊勢原市の誇る優れた観光資源である「手作り甲冑隊」は、昨今はすっかり有名になり、あちこちのイベントに引っ張りだこの状況です。

先週末の荒川区「日暮里道灌まつり」に続き、今回は昨年9月に初出動して、大好評をいただいた横浜港の大さん橋に再びお邪魔して、幸せの黄色ハンカチならぬいライントを振りながら鬨の声を上げて、豪華客船の出港を見送りました。

今回お見送りした客船は、前回と同じ日本の誇る『飛鳥Ⅱ』(50,142ト)で、瀬戸内海への2泊3日のショートクルーズですが、出港の高揚感は世界一周も変わりません。



ボール紙製の手作り甲冑を纏った26名の武将たちは、出港時刻が近づいたため、屋上の見送りデッキ「クジラの背中」に、隊旗を先頭に移動しました。

居合わせた見送りの皆さんも思わずカメラを向けます。



出陣太鼓を打ち鳴らし、法螺貝を響かせて、更に火縄銃を打ち鬨の声を上げ、出港を祝います。

デッキに集まった飛鳥Ⅱの乗客の皆さまからは、何事かと大注目を集めました。



まるで巨大なホテルを横にしたような飛鳥Ⅱに向かって、「いってらしゃい」と叫びながらペンライトを懸命に振り続けます。

甲冑と黄色いペンライトと一見合いそうに見えませんが出港の高揚感の中では不思議に違和感はありません。



17時になり、船上から出港を知らせる銅鑼の音が鳴り響き、長い汽笛を響かせて、巨大な船体は大さん橋を離れて行きます。

甲冑隊も負けずに銅鑼と太鼓を叩き、ペンライトを振って別れを惜しみます。



飛鳥Ⅱが出港した後の大さん橋から、暮れなずむみなとみらいの夜景がきれいに見えました。

いつかは見送られて船上の窓から、この景色を眺めてみたいと、しみじみ思いました。